

サステナビリティ ビジネス NEWS VOL3

サステナビリティは移り変わる目標であり、毎年多くの変化があります。Global Techno と Read the Air は、持続可能なビジネスの分野の進化を理解するための堅固な基盤を提供するとともに、最新の動向を常に更新し続けることを目指しています。このニュースレターでは、Read the Air の Trista Bridges と Donald Eubank が、持続可能なビジネス戦略、ポリシー、ツールに関する最新のニュースをピックアップします。今回のキーワードは[グリーンウォッシング](#)、[SEC の気候変動リスク開示ルール](#)、[欧州 CSDDD](#) です。

グリーンウォッシングの撤廃に向けて-EU が誤解を招く製品表示を違法とする指令を発表

EU は、[グリーンウォッシングに取り組む最新の法律](#)により、持続可能性政策のリーダーとしての地位を維持している。この指令は、企業が曖昧で裏付けのない環境主張をすることを違法とするものである。企業は、ラベルや広告において、第三者認証による裏付けなしに、製品が「自然」、「環境にやさしい」、あるいは「エコ」であると主張することができなくなった。この法律は、カーボン・オフセットの使用に基づく「気候ニュートラル」といった主張も対象としている。

Read the Air は、企業の情報開示要求が厳しくなるにつれ、第三者による検証、認証、保証の重要性が急速に高まっていることを目の当たりにしてきた。グリーンウォッシュは、企業が持続可能なビジネス慣行を実践するための真の努力を怠っていることを表している。証明不可能な主張をすることは常に間違いであったが、この法律は、競争力を維持するために認証されることに企業の焦点を移すべきである。

米国証券取引委員会 (SEC) の動き-気候変動リスクに関する投資家向けガイダンス

2024 年 3 月 6 日-。米国証券取引委員会 (SEC) は本日、上場会社や公募増資における気候変動関連の情報開示を強化・標準化するための規則を採択した。SEC による上場企業向けの[気候変動リスク開示ルール](#)の最終決定は、その存在そのものに対する喜び、その野心に対する失望、政治的な反発の両方を引き起こした。この開示ルールは米国の上場企業に対して、2026 年までに、物理的な気候変動リスクが事業に与える重大な影響（および一部の移行リスク）開示を求めるものであるが、[法的な異議申し立て](#)が相次いだにより、SEC 規則の施行は一時保留となっている。しかしながら、投資家の大多数がこのような情報へのアクセスを望んでいること、また気候変動に対応しないことの危険性が広く認識されていることから、この法律は最終的に施行される可能性が高いと考える。

日本の政策立案者は、米国の規制が日本企業に与える影響を理解するため、米国の規制を注視しており、SEC が EU と同様の要求事項を概説することは、金融庁が国際サステナビリティ基準委員会の要求事項を採用することを支持する強いシグナルといえる。日本の[サステナビリティ基準委員会 \(SSBJ\)](#) は、3 月 29 日にサステナビリティ開示基準の公開草案を公表した。多くの大企業は対応準備を整えているが、中小企業もこの機会に ESG 情報開示のスピードアップを図るべきであろう。

サプライチェーンの備え-企業持続可能性デュー・ディリジェンス指令 (CSDDD)

最近の EU 指令の中で、日本企業に最も大きな影響を与えそうなのが「[企業持続可能性デュー・ディリジェンス指令 \(CSDDD\)](#)」である。CSDDD は、EU 域内で従業員 1,000 人以上、年間売上高 4 億 5,000 万ユーロ以上の組織に適用される企業人権法である。同法の草案は先月、EU 理事会で合意された。EU 理事会はその後、法律を EU の全議会に渡し、議会は 4 月 24 日にこの法律を承認するかどうかを投票する。EU に進出している日本企業も含まれるはずだが、より大きな影響を及ぼすのは、EU の顧客に対して環境、労働、人権への影響を報告しなければならないサプライヤーだろう。CSDDD の報告者は、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」や、環

境とガバナンスに関する OECD の「多国籍企業ガイドライン」に沿ったデューデリジェンスに従うことが期待される。

現実的には、サプライヤーは自社の製品・サービスの取引企業から CSDDD を遵守するための ESG データの要請を受けることになるであろう。中小企業と協力する対応業者への財政支援、第三者監査の適用が求められ、最悪の場合、取引関係の停止や打ち切りも予想される。日本や海外で今後導入されるすべての規制と同様、ここでも企業は ESG 報告に関する基本的な理解を得るための最初の取り組みから、標準的なレベルでのコンプライアンスの実行、そして最終的には要求されるサステナビリティ情報開示の完成へと、一步一步進んでいくことが重要である。

ABOUT [READ THE AIR](#)

Read the Air (リード・ザ・エア) は、ESG と持続可能性の実践に基づく戦略を活用して企業価値を創造することを可能にします。私たちは、情報、計画、人材、コミュニケーション、ツールに焦点を当てることで、これを実現しています。企業と連携し、ESG 原則、持続可能な実践、国連の SDGs (持続可能な開発目標) に基づく持続可能なビジネスモデルを創造するための強力なビジネス戦略を設計、実施、実行するお手伝いしています。Read the Air は、最も複雑で急速に進化するサステナビリティ、ESG、およびビジネス問題について、情報に基づいた最新のアドバイスを提供します。Routledge 社から絶賛発売中の書籍「Leading Sustainably- The Path to Sustainable Business and How the SDGs Changed Everything」([Routledge](#) 社では 20% オフ、[Amazon](#) でも購入可能) をご覧ください。

Read more on the subjects above [here](#):

<https://www.readtheair.jp/ja/post/%E3%82%B5%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%8A%E3%83%93%E3%83%AA%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%BB%E3%83%AC%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%AE%E4%BE%A1%E5%80%A4-%E8%A6%8F%E5%88%B6%E9%A0%86%E5%AE%88%E4%BB%A5%E4%B8%8A%E3%81%AE%E4%BE%A1%E5%80%A4%E3%82%92%E8%A6%8B%E6%8A%9C%E3%81%8F%E6%96%B9%E6%B3%95>